

令和5年度第2回金沢市DX会議(2023.8.31)

発言要旨

○DXアクションプランの進捗『文化』

- ・デジタルミュージアムはメタバースでの公開を想定しているのか。
公開の手段についてはまだ決まっていない。まずは、アーカイブ化し活用していくという段階。
- ・メタバースでの公開は今後検討するのか。
メタバースはあくまで提供手段の一つと捉え、様々な提供方法について進捗をみながら検討していく。
- ・メタバースであれば、そこに誘導できるような発信が必要。
別の事業でメタバース活用の実証実験を準備しており、そこでデジタルミュージアムのコンテンツを活用しようと考えている。

- ・様々な自治体でデジタルアーカイブが行われているが、他自治体と差別化を図れるポイントはありますか
現段階では差別化ポイントはないが、子供たちが気軽に使えるようなものを考えていきたい。
- ・対外的に打ち出す際には、「徹底的に子供の体験によりそった」など、提供目的を明確に打ち出すといい。
目的はリアルな文化施設に来てもらうことなので、その入り口として活用を考えている。
- ・ECサイトから店舗へ来てもらうような打ち出し方など、オンリーワンとなれる打ち出し方があるといい。

- ・単なるデジタル化は第1ステップであり、その先が重要。
例えば、提供コンテンツに解説をつける。
金沢工業大学でもいろんな本の初版本を集めてデジタル化しているが、そのままでは見てもらえないので、「解説」を入れて提供している。
能面を例にとると、現地(能楽美術館)であれば学芸員さんに聞ける仕組みがある。デジタルで提供する際も、こうした仕組みの提供があればデジタル化する意義が出せるのではないかと。

- ・金沢市デジタルミュージアムの他との違いだが、ひとつは「体験型」である点。よくある美術品の展示に留まらず、体験までできる。
もうひとつは対象施設の多さ(17施設)。他では試験的に1,2か所だけに絞るやり方がある中で、ここまでの規模で行う自治体はかなり珍しいのではないかと。

この2点が他自治体へ打ち出せる強みではないか。

デジタルミュージアムの構想時点から、単なる閲覧にとどまらず、体験できるものを提供したいと考え行っている。

- ・ 閲覧や体験から購入までできるような取り組みも面白いのではないか。
デジタルミュージアムの検討会でも同様の意見をいただいているので、検討していきたい。古文書は現物が文字も小さくて見えづらいが、デジタル化により見やすく提供できる点も強みと考えている。
- ・ 金沢ならではの工芸品のレベルの高さを生かすような見せ方があるとよい。
また、17施設をそれぞれわけて提供するだけでなく、施設同士をつなげて新たな体験を提供することもできるのでは。
金沢は3文豪それぞれの施設があるので、それらをつなげるような仕組みも面白い。
- ・ N F Tについて、他の自治体活用事例はあるのか。
愛媛県がゆるキャラをN F Tとして配布し、取得者の属性や目的・二次流通等の動向を調べる実証実験をしている。

○DX アクションプランの進捗『教育』

- ・ GIGA スクール端末を活用して教えるというのは、教員にノウハウ・スキルが必要な気がするが、教員はどうやって学んでいるのか。
最初は試行錯誤だったが、現在は各学校の実践事例を周知・共有し、活用を進めてもらっている。操作スキルについては、I C T支援員が担う。
あわせて、教育委員会より年次計画を示し、進捗がばらつかないよう教員の負担軽減を図っている。
- ・ 「金沢型教育モデル」という指針があり、私自身も委員として参加しているが、年々ブラッシュアップされ、現場教員の指針となっている素晴らしい取り組み。
- ・ 利活用の地域間格差があると聞いているが、金沢市はトップを目指してもらえればと思う。一方で生成A Iの大きな流れが来ていることもあり、デジタル化に満足することなく、時代の流れ（生成A I）にしっかり向き合うことが重要。
生成A Iについては、市のガイドラインを市立学校へ通知したところ。これから各教員が試行錯誤し、どんな場面で使えるかなどを検討していく。
- ・ 子供向けにプログラミングに生成A Iをどう活用するか、ワークショップカリキュラムを作っているところであり、利活用の方法を理解するとよい使い方が生まれると期待して

いる。

- ・GIGA スクール端末の利用が95%とあったが、100%を目指すための施策等あれば教えてほしい。
心の天気を導入することで毎朝・夕に必ず端末に触ることとなり、端末が必ず手元にあるという状態となれば、授業での更なる活用を進められると考える。
- ・GIGA スクール端末導入によりこどものタイピングスキルが向上したというデータがあったが、その他にも端末を使うことでどんな能力が伸ばせるかなどの分析はしているか。授業中に端末で他の生徒の意見などが見られるので、各自が他者の意見を見ながら自身の意見を深める能力が育つ。また、端末蓄積情報をもとに情報処理能力やモラル・デザイン力等を図ることができるもツールがあるので、希望する学校には提供している
- ・「どこかの能力を高めるためにこういう風に活用しましょう」というように、目的を定めた活用がなされていくといい。
- ・心の天気について、民間企業で同様の事例は聞いたことがあったが、学校でやっていることは知らなかった。
金沢市では今年度モデル校4つで試行し、次年度から全校展開を予定している。
いじめの早期発見や不登校の未然防止へ生かしたい。
- ・データ分析は専門家に任せようがよい。
三重県では児童相談所にデータを活用したAIによる早期発見事業を行っていたが、当然専門家が担っている。
個々の教員にデータ分析や利活用難しいため、専門家に任せるべきだと思う。
- ・心の天気は心理学から出てきた話だと思うが、データの比較には注意が必要。
- ・GIGA スクールにより様々なデータが蓄積されると思うが、データの利活用はどのように考えているか。
国の動向を踏まえて進めていきたい。
- ・学校側でやるのは難しいと思うので、大学と連携するなどしたらいいと思う。
- ・IT部活の卒部生は貴重な人材となる。IT ビジネスプラザ武蔵での活用を考えているが、協力を願いたい。